



オール越木岩

<特集 秋祭りを100倍楽しもう!>

# おはやし豆知識

～おはやし隊とだんじり囃子～

## だんじり「おはやし隊」は小学生!

越木岩<sup>だんじり</sup>地車保存会では、だんじり巡行及びだんじり巡行に伴うすべての行事への参加に関与し、だんじり巡行を通じて「地域の和・地域の活性化」に寄与することを目的として活動しています。

その中の「おはやし隊」は地域の小学生で構成されており、壱番だんじりの鳴り物（太鼓・二丁鉦・半鐘）を担当しています。平成13年に結成、今年で10周年を迎えることになりました。子供たちのふるさとづくり、思い出づくり、そして青少年の健全な育成、伝統文化の継承をコンセプトに継続して取り組まれています。また、この活動は、文化庁から委嘱を受けた財団法人 伝統文化活性化国民協会の「伝統文化こども教室」の事業にもなっています。

おはやしは、だんじりの中に3人が入り、だんじり化粧幕で囲われて外部からは見えない場所で叩きます。ですから、実際にどのようにして叩かれているかを知らない方、ましてや壱番だんじりのおはやしは、次代を担う小学生が叩いていることなど知らない方がとても多いと思います。ではちょっとその様子をのぞいてみましょう…。このように叩いています。

↓



(写真左：太鼓

(写真中：二丁鉦

(写真右：半鐘



立った状態で鉦を見ながら、桧木材のバチで叩きます)

台座に座って叩きます/左右両利き対応になっています)

だんじりの下に座って叩きます/二丁鉦を見ながら拍子をとります)



## 「おはやし隊」その活動は…

おはやし隊は、越木岩地車保存会の役員会で承認された規約の下、指導者から厳しく統制されて活動をしています。歴史ある地域の伝統文化を継承しているという自覚を持たせ、この伝統文化に携わるすべての地域の方々に、感謝の気持ちを持って活動しております。

このおはやし隊、秋祭りのだんじり巡行以外にも毎年「サマーフェスティバル・イン越木岩」(8月)や越木岩自治会体育祭(10月)、越木岩神社の「椿祭りステージ」(3月)にも出演しています。その他にも、西宮市のプレアホールステージ、兵庫県教員委員会主催の勤労会館ステージ、兵庫県主催のなぎさフェスタステージなど、行政・教育関係からの依頼でステージ出演した経験があります。

## 責任重大な「おはやし隊」

おはやしは、だんじりを巡行するのにとても大切なファクターです。だんじりは、運行指揮者の指示のもと、その時々おはやしの種類に従って操作されています。ですから間違ったおはやしを叩いてしまうと、スムーズにだんじりを操作出来ず、事故にも繋がりがねません。

そこで、おはやし隊では、一連の練習スケジュールの終盤に「おはやしテスト」を行っています。テストには業務上の過失責任を負う立場の保存会役員が同席し、メンバー一人ずつテストしていきます。合格しなければ実際にだんじりに乗って叩くことが出来ないのです。子どもたちは合格目指してすごく頑張っている練習をしています。それぞれ年齢や習得していく技量・覚えていく速さは違うものの、練習会場はいつも熱気に溢れています。その頑張っている姿勢は素晴らしいものがあります。



## だんじりばやし囃子 …状況に合わせて 14 種類！

だんじり巡行に欠かせないおはやしは、巡行経路、巡行内容によって様々なパターンでその種類を変えていきます。それは14種類もあり、そのすべてを二丁鉦メンバーが主導していきます。二丁鉦メンバーは、だんじり保存会の右方責任者、またはおはやしメンバーの誘導担当から出される指示に従って、臨機応変に種類を変えていかなければなりません。

なお、だんじり巡行中というものは、鳴り物や掛け声など大きな音が絶えず鳴っていてとても会話することができないため、その指示は決められた「手形」によって伝達していきます。

それでは次にだんじり囃子の種類と伝達方法(手形)をご紹介します。

### 【ソーリャ】

さあ、これからいくぞ〜！という時の気合いや、上り坂でだんじりの動きがにぶって来た時の気合い入れ、休憩時間が終わって再出発する時、各地区でのイベントの際などで叩きます。操作をするメンバーが、一丸となって気合いを入れてだんじりを操作することができます。

※ソーリャの手形…片手でグーを作って手を伸ばします。

### 【出囃子】

9月22日の越木岩神社を出発する時と、9月23日の出発する時のみ叩きます。「ソーリャ」の原形です。出囃子はゆっくりゆったり叩くので、綺麗に揃って叩くと一番素晴らしいおはやしなのですが、適当に叩くとすぐにアラガでてしまいます。

### 【平道】

巡行中、曲がり角やご祝儀も何も無い、ただ巡行経路を曳いている時にひたすら叩きます。おはやしを終わる時も、「平道」からきっちり決められた形で終わります。

### 【曲り角】

巡行中、曲がり角をまがる時、約5メートル手前から鳴らし始めます。角に差しかけたら、おはやしに合わせて曳き手のメンバーがだんじりを担いで左右に振っていきます。

※曲がり角の手形…人差し指、中指、薬指、小指を揃えて伸ばし、親指と直角の形を作ります。

## 【 バック 】

だんじりをバックさせる時に叩きます。

※バックの手形…グーをしてから親指だけを自分の方に向けます。

## 【 祝儀 】

巡行中に、ご祝儀をいただいたら、感謝の気持ちを込めて、だんじりの前を差し上げて御幣を上を持っていきます。おはやしに合わせて曳き手のメンバーがだんじりを担いで上げ下ろししていきます。

※祝儀の手形…祝儀の本数分指を出します。指を2本立てた場合は、祝儀が2つ出たという合図です。

## 【 つなぎ 】

ある種のおはやしを叩き終えて、もとの「平道」のおはやしに叩き変える時や、おはやしを「通常終了」する時に、必ずこの「つなぎ」を叩いてから次に入ります。

## 【 駅前練廻し 】

駅前演出の時に、前方を担ぎ上げてだんじりを練り廻す時に叩きます。他に広田神社や西宮神社、須佐之男神社、西宮市役所、そして苦樂園ヒルズなどでも叩きます。

※駅前練り廻しの手形…手をグルグル廻します。叩く回数はその場で指示があります。

## 【 とばせ 】

だんじりととばす(走らす)際に叩きます。主に駅前の演出時に叩きますが、巡行時間が著しく遅延した時など、道路の空き状況によっては総括責任者や実行委員長らの判断でとばします。駅前のとばせは、最初ゆっくり叩き始め、だんじりが動きだしたら徐々に早くしていきます。

※とばせの手形…ピストルの形を作ります。

## 【 高速バック 】

駅前の演出時、「とばせ」をしてだんじりが止まったらすぐにバックに入ります。その時にだけ叩きます。回数は決められていませんが、だいたい5～7回叩いてから次のおはやしに移っていきます。

## 【 宮入り 】

2日間の巡行の最後、越木岩神社に宮入りする時にだけ叩きます。拝殿前で練り廻しをして、最高潮に達していく様子を長時間演出するので、気合いと体力が勝負です。

## 【 あいの手 】

平道がずっと続く時は、平道のおはやしをひたすら叩きますが、その1クールが終わって、また平道の最初に戻る時に、「あいの手」というおはやしを叩きます。3種類あります。

## 【 鳴り物の終了 ① 通常終了 】

鳴り物を終わる時は、平道からきっちり決められた形で終わりますが、それを「通常終了」と言います。これも手形で指示があります。

※通常終了の手形…胸の前で両手を交差し指はパーにします

## 【 鳴り物の終了 ② 強制終了 】

いかなる時であっても、「強制終了」の指示が出たら、すぐに全員鳴り物をやめます。

※強制終了の手形…胸の前で両手を交差し指はグーにします

太鼓・二丁鉦・半鐘…昔からあるこの伝統的な鳴り物(楽器)と、お囃子という無形の伝統文化、そしてそれを継承していってくれている子どもたちを、これからも地域ぐるみで大切にしていきたいものです。